



すみだ  
住田 誠 議員  
まこと



## 経済を元気にする3つの視点

**問** 本市では令和3年度に経済循環調査事業を行なっており、経済波及効果の高い産業や、雇用を支えている産業などが明らかになったのではないかとと思われる。それらのデータを踏まえて、企業による市内での投資や地域内調達、市民の市内消費など、市内の経済循環を促す取り組みができないだろうか。そこで、次の2点について問う。

**①** 地域経済の特徴及び規模など、本市の現状について

**②** 今後の取り組みの方向性について

**答** ①本市には様々な企業が立地・操業されている。就業者数や出荷額などの面では、輸送用機械や生産用機械の器具製造に代表される製造業の割合が高く、稼ぐ力も高い。また、医療や社会福祉・介護事業において、

多くの雇用を受け入れている状況にある。平成30年度の市内総生産は、県内6番目の3,921億円、収支は233億円のプラスとなっている。一方、近年の人口減少と相まって就業者数は減少傾向にあり、第一次・第二次産業で減少率が高い。情報サービス業や広告業は集積度が低く、これらの業務の発注によって資金が市外へ流出している。また、今回の調査業務を通じて、次の「3つの視点」が確認できた。①原材料やサービスなどを市外から調達する傾向がある。②コロナ禍や物価高騰等に伴って、生産品を出荷する際の輸送コストが経営を圧迫しつつある。③デジタル

やグリーンといった社会環境の変化に応じた人的・物的投資の必要性を感じている企業がある。

**②** 先の視点も踏まえた今後の取り組みの方向性は、市内の多くの業種において市内調達への切り替えを促すことや、出荷や販路の開拓・拡大を支援して外からの稼ぎを増やすこと、企業の成長に向けた投資を促進・支援することで、市内の産業振興や経済の好循環を生み出したい。それらを経済団体等と連携を図り、取り組みを進めたいと考えている。



▲三原市の地域経済をバケツに例えたイメージ  
参考：枝廣淳子著「地元経済を創りなおす」

## 一般質問

### ～議長会表彰～

永年にわたり地方自治の発展と振興に貢献した功績により、2人の議員が表彰を受けました。

■全国市議会議長会

特別表彰（議員歴35年以上）

寺田 元子 議員

■中国市議会議長会

特別表彰（市議会正副議長6年以上）

仁ノ岡 範之 議員

### 議員研修会を開催しました！

本市議会では、本会議における一般質問・総括質問など質問能力向上を図るため、5月13日に地方議員研究会 総括コンサルタント 川本 達志さんを講師に迎え、『役所を動かす質問・質疑の仕方』をテーマに議員研修会を開催しました。

この研修会では、一般質問や質疑の定義、実際に役所が動いた質問のポイントや良い質問の3つの要件など、本市の資料を事例に講演を受け、「正しい質問・質疑は正しい未来を創る」ことを学びました。



災害発生時、市議会の対応は？

## 災害時対応訓練を実施（5月23日）

本市議会では、平成30年の7月豪雨災害を教訓として、災害時対応要領を定め、災害の種別ごとに本市議会のとるべき対応を明記しています。

毎年、梅雨時期を前に災害時対応訓練を行っており、要領に沿った初動期の動きや、災害時に設置する連絡会議について、議員は実際にタブレット等を使って、状況報告をするなど、一連の流れを確認しました。

訓練後には、災害時の対応の仕方について議員全員で確認しあい、災害対応に備えました。